



武蔵野

学校だより NO. 10
令和4年 1月号
昭島市立武蔵野小学校
校長 岡部 操

明けましておめでとうございます。楽しい学校づくりに向けて！

校長 岡部 操

令和4年の新春を迎え、武蔵野小学校の3学期がスタートしました。本校の3、4階東側教室からは富士山がよく見えますが、すっかり雪化粧した姿は、新年ということもあり気持ちを引き締めさせてくれます。本年度も教職員一同お子様の成長を願って、教育活動を実践してまいります。

さて、去年の学校だよりでお伝えしましたが、全国学力・学習状況調査（6年）と体力テスト（全校）では、それぞれ平均を上回る結果が出せました。これは、本校の「学ぶ力」育成計画が着実に遂行された結果だと考えます。

年頭に際し、教職員には確認、理解すべきこととして次のこと（要約）を話しました。学校経営の一端としてご理解いただければと思います。

笑顔あふれる学校（学んで楽しい、教えて楽しい学校）を目指します。人とのつながりを大切に「チーム武蔵野」で教育活動を展開します。

—学力向上・健全育成に向けて—

- 1 児童が安心して生活できる環境づくり・互いに話し合い、聞き合い、認め合う人間関係・いじめや差別、偏見は決して許さないという指導を徹底する。
- 2 学ぶ楽しさを実感できる環境づくり・教師自身が日々の指導力の向上に努めること。
- 3 児童が納得する生活指導と規律ある生活づくり・児童に行動様式を示し一貫した指導体制の構築・いじめは根絶するが、トラブルはあって当然である。トラブルは大事な教材である。
- 4 児童が学ぶ場としての環境づくり・人のために自分が役立つ体験から、奉仕の精神の育成に努める。・児童は動きが活発である。行動を想定することが危険回避につながる。
- 5 保護者、地域との連携づくり・学校・家庭・地域のそれぞれの役割を分担・協力し子供の教育に責任をもつ。
- 6 武蔵野小学校の教職員として・教職員は一人一人が責任を持って仕事をする。こと。（学校は常に説明責任と結果責任が問われる）・教職員は最大の教育環境であることを自覚すること。（出退勤時、勤務中の服装、言葉遣いなど、子供や保護者、地域が注目している）・服務事故の防止は学校の抱える大きな課題（服務事故は学校の信頼を一気に失い、その回復には多くの時間と労力が必要である）

教育は信頼関係の上に成り立ちます。教師と児童、保護者との人間関係は相互の信頼が基本になります。私たち教職員には、子供たちを尊重し受容する態度と、子供たちの成長を願う教育的愛情が求められます。

このことをしっかりと自覚して、今年も武蔵野小学校では、知育・徳育・体育のバランスを大切に児童の育成を目指してまいります。保護者や地域の皆様におかれましては、昨年同様の本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

